

# 専門・認定看護師委員会ニュース

NO.1 2014 春号 静岡赤十字病院

新年度がスタートし爽やかな新緑の季節となりました。さて今回より専門・認定看護師委員会ニュースは季刊号の発行となります。各専門領域の活動を紹介したり、最新の情報を提供したいと思います。第1号は2つの分野の認定看護師より活動報告を致します。

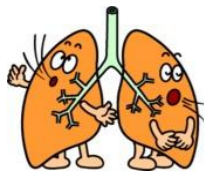
## 救急看護認定看護師 名倉やよい・村松美代子

### 一緒にRSTラウンドしませんか！

私達は呼吸ケア作業部会の一員としてRST (respiratory support team)ラウンドを開始しました。RSTとは医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士、栄養士など各職種が専門知識をもちより、院内における呼吸療法が安全で効果的に行われるよう、サポートするチームのことです。2010年、診療報酬加算が新設されました。施設基準の中でも、特に看護師の条件は厳しく、「人工呼吸器管理等に6ヶ月以上の専門研修を受講している看護師」とされています。条件に合う看護師は、現時点では認定看護師教育(救急看護、集中ケア、小児救急、新生児集中ケア)しかありません。もっと、呼吸ケアの活動メンバーを増やしていこうと思っています。皆さんのなかで呼吸療法認定士の資格をお持ちの方はいらっしゃいますか。ご自身のレベルアップやモチベーションアップのために一緒に活動しませんか？呼吸療法士や認定看護師の取得を目指している方、目指そうと思っている方、私たちが力になりますよ。今後は、安全・安楽で適切な呼吸管理をどこの病棟でも実施できるように他部門とも協力し、マニュアル作成や教育にも力を注いでいきたいと思っています。呼吸ケアでお困りのことがありましたら気軽にお声をかけて下さい。



### RSTラウンド:毎週金曜日15時より病棟を回っています



呼吸ケアに興味をお持ちの方、私たちと一緒に活動しませんか！

## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 梶原聡子

### 専任教員を経験して思うこと

2013年6月から半年間、静岡県看護協会「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程の専任教員を務めさせていただきました。始めは私に務まるだろうかと不安が大きかったのですが、後輩育成に役立ちたいと考えました。また、自分が受講生の時の経験や実際の活動を伝えることが私の役割であると考えました。

受講生は講義、グループワーク、レポート、試験、実習などが多くあり、心身ともに辛くなる時があります。自分が教員に支えてもらったことがどれだけ心強かったかということ思い出しながら、私も支えになれるように受講生に接しようと心がけました。緊張せずに講義や実習に臨めるように環境を整えること受講生1人1人と真剣に向き合い主体性を尊重することの大切さを学びました。卒業生は、5月に認定看護師認定審査を控えており、自分が受験するような気持ちで気が気ではありませんが、静岡天満宮を見ながら全員合格を毎日祈っています。

専任教員を務めさせていただいたことは貴重な経験であり、教育に関することや認定看護師として再度学ばせていただく機会となりました。認定看護師としてどう活動していくか考える毎日でもありました。このような経験ができたのも出向させていただいた職場の皆様のご協力や全国にいる同期の応援、家族の支えがあったからこそだと思います。今回の学びを無駄にせず職場で活かしていきたいと思っています。



### 看護の専門性を高める病棟認定コーチ制度

3-4病棟では、昨年より病棟認定コーチ制度を導入し、スタッフの看護の向上を目指しています。脳卒中リハビリテーション看護、認知症看護、摂食嚥下障害看護の各認定看護師が講師です。私も講師の1人として活動しています。



筋力低下による食事困難な患者さんへの援助

### 編集後記

今年度も職場の皆さんと一緒に看護を実践し活動していきたいと思っています。各職場で日頃感じている問題や相談、勉強会等の希望がございましたら、お声をかけください。今年度も皆さんのリソースになれるよう頑張っていきます。

(糖尿病看護認定看護師 柿宇土 敦子)